

東京農業大学オホーツクキャンパス
学術情報課程年報2013

博物館と学芸員

を目指す



記憶に残る印象深い展示室

足寄動物化石博物館（北海道）、群馬県立自然史博物館（群馬県）

日本玩具博物館（兵庫県）、富山市科学博物館（富山県）、福井県立恐竜博物館（福井県）

名護博物館（沖縄県）、海の博物館（三重県）

東京農業大学学術情報課程
（オホーツクキャンパス）

キュレーターは学芸員に対応する英語である。より正確には、コレクションの部門長といったところであるが、使われ方は博物館によって異なり、一つの研究分野に多数の人が名乗る場合もある。仕事の範囲もさまざまで、ちいさな館では研究も資料管理も担うが、大規模館では資料管理の責任者としてコレクションマネジャーを置く分業体制となっている。英語圏の博物館では、研究志向の何でも屋のキュレーターから各種専門職が確立していった。それでもキュレーターは博物館の研究部門では最高位の職である。しかし、

インターネットの世界ではキュレーターの語は異なった意味で用いられている。いわゆる「まとめサイト」をつくる作業を「キュレーション」、まとめる人たちを「キュレーター」と呼ぶのだという。現実の世界でキュレーターを学芸員と理解する前に、バーチャルの世界では別の用法が確立し、それがリアルの世界にまで入り込もうとしている。すでにデジタルな理解でキュレーションを語る書籍が出版され、キュレーターは博物館と離れた意味で普及していくのかも知れない。似た例に

アーカイブがある。現実の世界ではアーカイブはいつまでたっても認知が進まず、アーキビストに到っては対応する日本語すら存在しない。一方、コンピュータの用語では、使わなくなったデータを圧縮して保存するという意味で、一般的に使われるようになって久しい。バーチャルが先でリアルが後でもよい。古いデータを保存する習慣、過去の記録を調べる体験がこれによって共有されていく。いずれ、リアルの世界でもアーカイブの価値が理解されていくと期待したい。文書や記録は捨てるのでも燃やすのでもなく、しっかり保存整理すべき財産だと。これはインターネットの

ウェブサイトにも言えることだ。博物館のウェブページは新しい情報を告知するだけではない。情報の蓄積場所としての役割もある。博物館の調査や収集活動、展示やコレクションに関する記録は毎年毎月増加を続ける。古い情報はウェブサイトから削除するのではなく、リンクを残して積み上げる。それは一種のアーカイブとして機能する。最新機器を駆使した高精度画像や巨大システムは必要ない。地道な足取りをたどる日誌や報告書のような資料集にこそ意味がある。それが博物館の歴史である。

平成25年度東京農業大学学術情報課程（オホーツクキャンパス）経過報告

1. 開講科目

科目名	単位	開講年次	担当教員	教科書
博物館概論（新課程）	2	1年前期	宇仁義和	オリジナルプリント
教育学概論	1	1年後期	入宇田尚樹	小澤周三編 1998『教育学キーワード』
博物館教育論（新課程）	2	1年後期	入宇田尚樹・宇仁義和	小澤周三編 1998『教育学キーワード』
博物館資料論（新課程）	2	2年前期	渡部 裕	全博協西日本部会編2012『新時代の博物館学』
生涯学習概論（新課程）	2	2年前期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館情報論	1	2年後期	宇仁義和	波多江潤子 2012『新詳細DTP基礎改訂三版』
博物館資料保存論（新課程）	2	2年後期	渡部 裕	全博協西日本部会編2012『新時代の博物館学』
博物館展示論（新課程）	2	2年後期	宇仁義和	オリジナルプリント
視聴覚教育メディア論	1	3年前期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館経営論	1	3年前期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館実習	3	3・4年通年	宇仁義和	オリジナルプリント

2. 館園見学

学年	見学施設	分野	設置者・博物館法による区分
1年	博物館網走監獄	建築・歴史	私立・登録
1年	網走市立郷土博物館・モヨロ貝塚館	総合・考古	公立・登録
1年	北海道立北方民族博物館	民族・考古	公立・登録
2年	釧路市動物園	動物園	公立・類似
2年	釧路市立博物館	総合	公立・登録
2年	足寄動物化石博物館	自然史	公立・類似
3年	網走市立郷土博物館丸万収蔵庫	産業史・民俗	公立・登録
3年	旭川市青少年科学館	科学館・プラネタリウム	公立・登録
3年	サッポロビール博物館	企業博物館	私立・類似
3年	札幌市円山動物園	動物園	公立・相当
3年	北海道大学植物園博物館	植物園・大学博物館	国立・相当
3年	北海道大学総合博物館	ユニバーシティミュージアム	国立・類似
3年	小樽水族館	水族館	私立・相当



網走市立郷土博物館・モヨロ貝塚館



釧路市立博物館考古学収蔵庫

3. 授業内容

1) 特別授業

本学部の卒業生である美幌博物館の町田善康学芸員（生物生産学科H14年度卒業）による特別授業を、11月30日に2年生科目「博物館展示論」で実施した。企画展「ホネホネ展」を題材に、展示資料の作成、収蔵資料の活用、バナーのデザイン、巡回展の実施についての講義となった。

2) 参考書

・博物館概論

博物館概論／伊藤寿朗・森田恒之／学苑社（1978）

新版水族館学 水族館の発展に期待をこめて／鈴木克美・西源二郎／東海大学出版会（2010）

建築設計資料28記念展示館／岡野眞・建築思潮研究所編／建築資料研究社（1990）

建築設計資料88拡張型博物館／岡野眞・建築思潮研究所編／建築資料研究社（2002）

・博物館教育論

笠井尚ほか編／教育学を学ぶ：総合資料／大阪教育図書（1992）

放課後博物館へようこそ／浜口哲一／地人書館（2000）

・博物館資料論

標本学 自然史資料の収集と管理／国立科学博物館編／東海大学出版会（2003）

・生涯学習概論

市民のなかの博物館／伊藤寿朗／吉川弘文館（1993）

21世紀にはばたくカナダの教育（カナダの教育2）／小林順子ほか／東信堂（2003）

・博物館情報論

カラー図解DTP&印刷スーパーしくみ辞典／DTPWORLD別冊／ワークスコーポレーション（毎年刊行）

・博物館資料保存論

博物館資料保存論-文化財と空気汚染／佐野千穂ほか／みみずく舎（2010）

文化財保存科学ノート／沢田正明／近未来社（1997）

・博物館展示論

ミュージアムの学びをデザインする 展示グラフィック&学習ツール制作読本／木下周一／ぎょうせい

The 水族館／三推社出版部／講談社（2007）

・視聴覚教育メディア論

メディア文化論／吉見俊哉／有斐閣（2004）

どこまでOK?迷ったときのネット著作権ハンドブック／中村俊介／翔泳社（2006）

・博物館経営論

地域博物館への提言／日本展示学会／ぎょうせい（2001）

ミュージアムが都市を再生する／上山信一・稲葉郁子／日本経済新聞社（2003）

キュレーターからの手紙／三木美裕／アム・プロモーション（2004）

・博物館実習

ミュージアムの学びをデザインする 展示グラフィック&学習ツール制作読本／木下周一／ぎょうせい（2009）

博物館への挑戦-何がどこまでできたのか／日高真吾・園田直子編／三好企画（2008）



バナーの利点を説明する町田学芸員

2) 農大ロビー展「オホーツクの農大根性」

開催期間 12月7日(土)～15日(日) 9:30-16:30

開催場所 北海道立北方民族博物館特別展示室(ロビー)

主催 東京農業大学学術情報課程(オホーツクキャンパス)

○おもな展示資料

1) 全国班

- ・全国ご当地カレー地図 47都道府県カレーのパッケージ
- ・全県分の方言ビデオ 47都道府県すべての出身学生の方言インタビュー
- ・網走にいない動物 ジオラマとモグラの物語り

2) 研究班

- ・網走のクジラ・イルカ・海鳥 あばしりネイチャークルーズの写真
- ・鰭脚類の頭骨 トド、オットセイ、アザラシの頭骨
- ・魚類標本 骨格標本、透明標本、樹脂封入標本、はく製

3) 網走班

- ・風景写真 学生が見て感じた網走の風景
- ・水中映像 コンブや海草、アメマスやニジマスの川
- ・海岸漂着物 外国産のペットボトルや何かに見える流木

4) 農大班

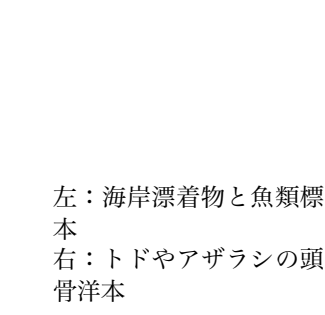
- ・キャンパス模型 レゴを用いて作った農大ジオラマ
- ・学生写真 旅行やイベントから日々の暮らし、学食



展示メンバー：学術情報課程3年生



左：あばしりネイチャークルーズの写真展
右：網走の風景写真と水中映像



左：海岸漂着物と魚類標本
右：トドやアザラシの頭骨洋本



左：レゴで作ったキャンパス模型
右：方言ビデオとご当地カレーマップ

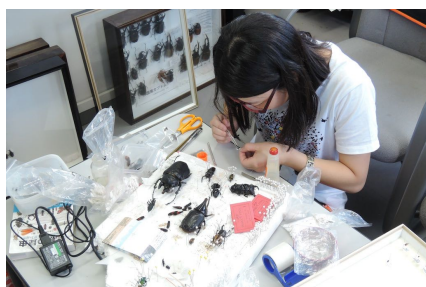
4. 館園実習

本年度の実習生は38名（3年生34名・4年生4名）、受入先は北海道4館12名、秋田県1館1名、福島県1館1名、栃木県1館1名、群馬県1館1名、千葉県1館1名、埼玉県1館2名、東京都2館5名、神奈川県1館1名、新潟県1館1名、長野県2館2名、静岡県1館1名、三重県1館1名、福井県1館1名、和歌山県2館2名、兵庫県1館1名、沖縄県2館4名であった。大学内での実習者は2館6名であり、学外での実習者32名のうち28名が生体展示施設での実習者（動物園3・水族館20・昆虫館1・複合4）と大半を占め、いわゆる博物館での実習者は4名であった。

お忙しいなか、実習生を受け入れてくださった館園にお礼申し上げます。

学籍番号	氏名	期間	館園名
○生物生産学科 3年生8名			
18110000	女子学生	2013.8.23-9.1	丸瀬布昆虫生態館
18110000	男子学生	2013.8.23-30	釧路市動物園
18110000	女子学生	2013.8.8-17	松本市アルプス公園「小鳥と小動物の森」
18110000	女子学生	2013.8.12-22	オホーツクとっかりセンター
18110000	男子学生	2013.8.5-16	東京農業大学厚木キャンパス植物園
18110000	男子学生	2013.9.12-21	斜里町立知床博物館
18110000	男子学生	2013.10.21-31	ネオパークオキナワ名護自然動植物園
18110000	男子学生	2013.8.3-13	ネオパークオキナワ名護自然動植物園
○アクアバイオ学科 3年生24名・4年生3名 計27名			
21110000	男子学生	2013.9.9-18	登別マリンパークニクス
21110000	男子学生	2013.8.12-25	さいたま水族館
21110000	男子学生	2013.10.26-11.5	標津サーモン科学館
21110000	男子学生	2013.9.16-26	串本海中公園
21110000	男子学生	2013.8.8-18	標津サーモン科学館
21110000	男子学生	2013.8.12-25	さいたま水族館
21110000	女子学生	2013.12.2-15	市川市動植物園
21110000	女子学生	2013.8.22-9.1	アクア・トトぎふ
21110000	男子学生	2013.8.22-9.1	オホーツクとっかりセンター
21110000	女子学生	2013.11.5-14	海洋博覧会記念公園・沖縄美ら海水族館
21110000	女子学生	2014.2.18-28	東京農業大学「食と農」の博物館
21110000	女子学生	2013.8.13-23	姫路市立水族館
21110000	男子学生	2013.8.17-27	ネオパークオキナワ名護自然動植物園
21110000	女子学生	2013.8.22-29	福井県立恐竜博物館
21110000	男子学生	2013.8.26-9.4	中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」
21110000	男子学生	2013.10.15-25	標津サーモン科学館
21110000	男子学生	2013.8.12-16	京都大学瀬戸臨海実験所白浜水族館
21110000	男子学生	2013.9.13-27	鳥羽水族館
21110000	男子学生	2014.3.4-14	東京農業大学「食と農」の博物館
21110000	女子学生	2013.8.13-23	伊豆三津シーパラダイス
21110000	男子学生	2013.12.15-28	恩賜上野動物園

21110000	男子学生	2013.9.9-19	オホーツクとっかりセンター
21110000	男子学生	2013.8.5-16	東京農業大学厚木キャンパス植物園
21110000	女子学生	2013.9.19-10.3	オホーツクとっかりセンター
21110000	男子学生	2013.9.28-10.8	標津サーモン科学館
21110000	男子学生	2013.11.27-12.7	東京農業大学「食と農」の博物館
21110000	女子学生	2013.4.25-5.8	栃木県なかがわ水遊園
○食品香粧学科 4年生1名			
02100000	女子学生	2013.8.1-7	十日町市博物館
○産業経営学科 3年生2名			
20110000	女子学生	2014.2.18-28	東京農業大学「食と農」の博物館
20110000	男子学生	2013.10.26-11.5	標津サーモン科学館



昆虫標本の作製(丸瀬布昆虫生態館)



アザラシの餌作り(オホーツクとっかりセンター)



ゾウガメ飼育舎の清掃(登別マリパークニクス)

5. 自主的な活動

博物館などでの自主的な実習やインターンシップ(本学の就業体験制度)、ボランティア活動への参加状況は以下のとおりである。受け入れてくださった施設の皆様にお礼申し上げます。

【自主的な実習】

1) 釧路市動物園(釧路市)

アクアバイオ学科2年の女子学生が、釧路市動物園で博物館実習に準じた実習を行なった(2013.8.23-30)。内容は骨格標本の整理、掲示物の作成、飼育者の清掃、出前講座の補助、ガイドツアーの引率であった。

2) サンピアザ水族館(札幌市)

アクアバイオ学科2年生の男子学生がサンピアザ水族館で飼育を中心とした実習を行なった(2013.8.16-28)。内容は水槽の掃除、水質検査、餌作りや餌やり、イベントの誘導や説明などであった。

【インターンシップ】

3) 博物館網走監獄(網走市)

アクアバイオ学科3年生の女子学生が、インターンシップを利用した実習を行なった(2013.8.4-10)。内容は、夏休み織物体験講座や七夕イベントの補助、資料受入、ガイドツアーの引率などであった。

【ボランティア活動】

4) 北海道立北方民族博物館(網走市)

アクアバイオ学科2年1名(女子1)と食品香粧学科2年生1名(女子1)の2名が、「第5回はくぶつかんまつり」(2013.11.3)および「開館記念感謝Day」(2014.2.9)の補助業務を行なった。

5) 標津サーモン科学館(標津町)

アクアバイオ学科2年生11名(男子3・女子8)が、「稚魚放流式」(2013.5.3-5)などの連休行事の補助、水槽の清掃を行なった。

6. 年間カレンダー

4月 8日	前期開講科目授業開始
5月 8日	受講希望者向け説明会
5月17日	受講許可者掲示
5月14日	網走市立郷土博物館丸万収蔵庫見学（3年生）
6月 6日	博物館網走監獄見学（1年生）
6月13日	網走市立郷土博物館・モヨロ貝塚館見学（1年生）
6月20日	北海道立北方民族博物館見学（1年生）
6月28日	全国大学博物館学講座協議会全国大会に参加（札幌学院大学）
7月 6日	釧路市動物園および釧路市立博物館見学（2年生）
7月26日	教職・学術情報課程委員会（第二会議室）
8月 1日	前期開講科目授業（試験）終了
9月3～5日	札幌館園見学旅行（3年生）
9月24日	後期開講科目授業開始
11月30日	足寄動物化石博物館見学：展示室解説および化石レプリカ作成
12月10日	学部卒業生による特別授業：美幌博物館・町田善康学芸員
12月 7～15日	農大ロビー展「オホーツクの農大根性」開催（北海道立北方民族博物館ロビー）
12月11・12日	農大ロビー展「オホーツクの農大根性」見学会（1・2年生）
1月31日	後期開講科目授業（試験）終了

【博物館などへの採用実績】

・新卒者

小樽水族館 H24年度卒業アクアバイオ学科男子1名 平成25年（2013）4月採用

長岡市寺泊水族博物館 H22年度卒業アクアバイオ学科女子1名 平成23年（2011）4月採用

串本海中公園センター H22年度卒業生物生産学科男子1名 平成23年（2011）4月採用

・既卒者・科目等履修生

釧路市立博物館 生物生産学科H14年度卒業男子1名 平成25年（2013）4月転職採用

美幌博物館 生物生産学科H14年度卒業男子1名 平成22年（2010）7月正規採用

大学の学部において学芸員資格を取得した者の博物館への就職率は約1%ときわめて低い（平成20年9月文部科学省生涯学習政策局社会教育課調べでは、9,577人中61人で0.6%、「学芸員養成の充実方策について（第2次報告書）」62p）。当課程の場合、平成25年度までの単位修得卒業者は154人であり、新卒者の博物館専門職への就職者は3名、就職率は1.9%である。

東京農業大学オホーツクキャンパス
学術情報課程・博物館情報学研究室

平成26年（2014）3月

099-2493 網走市八坂196

Tel: 0152-48-3857 Fax: 0152-48-2766